

東北大学文学研究科教員公募

1. 公募人員：准教授 1 名

2. 所属：東北大学大学院文学研究科広域文化学専攻西洋文化学講座（英文学専攻分野）

3. 業務内容：英語文学及び関連諸分野に関する研究・教育

4. 応募資格：

（1）博士号の学位を有すること。

（2）日本語で教育・研究指導および学内業務が遂行できること。

（3）19 世紀ないしは 20 世紀の英語小説について優れた業績を有すること。英語文学および関連諸分野（文化研究、比較文学など）に関する深い見識を持つこと。英語詩の授業を担当可能であること（一セメスター以上の講義や演習の担当経験があることが望ましい）。

（4）文化的生産のマテリアルな分析、フィールド・リサーチ、複言語教育実践の経験や、これらへの深い理解、関心を有すること。

5. 主な担当授業科目：

（1）大学院

英文学特論、そのほか関連科目、論文指導など

（2）学部

英文学概論、英文学演習、そのほか関連科目、論文指導など

6. 採用予定年月日：2026 年 4 月 1 日またはそれ以降のできるだけ早い時期

7. 待遇：

（1）給与：

東北大学職員就業規則に基づき、経験に応じて支給。その他、通勤手当、住居手当、扶養手当等を支給する場合があります。

（2）勤務形態：常勤

（3）任期：なし（ただし、定年は 65 歳）

研究業績・教育経験によっては准教授（テニュア・トラック制）として採用することもあります。准教授（テニュア・トラック制）として採用されたものは、5 年以内に審査を受けて、十分な資格があると認められた場合には、任期のないテニュア付き准教授に配置転換されることとなります。

（4）勤務時間：専門業務型裁量労働制。8 時 30 分～17 時 15 分を基本とし、各人の裁量に委ねる。

(5) 休日：土日祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

(6) 社会保険：文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険加入

その他国立大学法人東北大学職員就業規則等による

8. 提出書類：

(1) 履歴書（書式自由。学歴は高等学校卒業から。連絡の都合上、Eメールアドレスも必ず記載のこと）

(2) 研究業績一覧（著書、論文、口頭発表、その他に区分し、発表順に記載すること。印刷中の論文等は、その旨を明記すること）

(3) 主要な研究業績3点の原本またはコピー各1部。左記3点の要旨をA4判用紙に各400字程度で記したものを3部。

* 業績原本について返却希望の場合には返信用封筒（送料は応募者の負担とします）などを同封してください。その他の書類については返却しません。

(4) これまでの教育・研究などを踏まえた着任後の抱負3部（A4判用紙に2000字程度）。応募資格の(2)～(4)を満たしていることが分かるように作成してください。

9. 応募締め切り：2025年9月30日（火）必着

10. 提出先：

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科総務企画係

封筒に「英文学専攻分野教員応募書類」と朱書、書留郵便、または簡易書留郵便で送付してください。

なお、8-(3)に注記された場合を除いて応募書類の返却は致しませんので、ご承知をお願いします。

11. 問い合わせ先：

東北大学大学院文学研究科 西洋文化学講座（英文学専攻分野）教授 大貫 隆史

E-mail : takashi.onuki.b8@tohoku.ac.jp

12. 備考

- ・ 提出書類により選考の上、面接をおこなう場合があります。ただし、そのための旅費等は応募者の負担とします。
- ・ 業績その他について追加提出を求める場合があります。
- ・ 健康診断書については、後日提出を求めることがあります。
- ・ 採否の結果については、決定後速やかに応募者本人に通知します。

・ 東北大学は多様性、公正性、包摂性（Diversity, Equity & Inclusion : DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/> 雇用の分野における男女の均等な機会及び

待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。

・東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園(定員 22 名)、青葉山みどり保育園 (定員 116 名)および、星陵地区の方が利用できる星の子保育園(定員 120 名)があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

・その他、男性教職員の育児休業等促進策を含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

男女共同参画推進センターWEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/>

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>